

Express5800 シリーズ「Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS)を使用する特定のケースで CPU 使用率が高くなり、Syslog に smad のログが大量に出力される」件について

日頃より弊社 Express5800 シリーズをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

下記のサーバ装置において Linux OS をご使用の場合、以下の事象が発生する場合があります。

対策版システム情報を以下に記しますので、ご適用をお願いいたします。

1. 障害事象

Red Hat Enterprise Linux Server システムにおいて、バージョン 1.4.0 未満の Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS)をご使用の場合、CPU 使用率が高くなることがあります。

また、以下の Syslog が大量に出力されることがあります。

smad: Failed: Timed out waiting for SNMP_HELLO response

hpilo 0000:01:00.2: Open could not dequeue a packet

hpilo 0000:01:00.2: Closing, but controller still active

smad: Failed: no available HP iLO channels

smad: Failed: Writing HPILO SNMP_HELLO errno =9

hpilo 0000:01:00.2: Open could not dequeue a packet

hpilo 0000:01:00.2: Closing, but controller still active

これらの問題は不正な AMS シャットダウンが何度も繰り返された結果発生する可能性があります。これにより iLO 5 が通信チャネルを見失ってしまう可能性があり、それに伴って AMS で通信障害が発生します。障害が発生している通信チャネルに対して AMS がポーリングを実行すると CPU 使用率が高くなります。

2. 対象機種

Express5800/R120h-1M

Express5800/R120h-1M (2nd-Gen)

Express5800/R120h-2M

Express5800/R120h-2M (2nd-Gen)

Express5800/R120h-1E

Express5800/R120h-1E (2nd-Gen)

Express5800/R120h-2E

Express5800/R120h-2E (2nd-Gen)

Express5800/T120h

Express5800/T120h (2nd-Gen)

Express5800/R110j-1

3. 対象 OS

Red Hat Enterprise Linux Server 6

Red Hat Enterprise Linux Server 7

4. 対象バージョン

Agentless Management Service (iLO 5) for Linux (AMS) バージョン 1.4.0 未満

※Red Hat Enterprise Linux Server システムご使用中のお客様で
AMS 1.4.0 以上をご利用頂いている場合、事象は発生いたしません。

<バージョン確認方法>

以下の rpm コマンドでバージョンを確認します。

```
# rpm -q amsd
```

```
amsd-x.x.x-xxxx.xx.rhel7.x86_64
```

1.4.0 の場合は“amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64”と表示されます。

“amsd-“の後の数字がバージョンになります。

amsd-1.4.x-xxxx.xx.rhel7.x86_64 と表示された場合、更新対応は不要となります。

5. 対策

iLO5 ファームウェア、iLO5 日本語言語パック および AMS のアップデートをお願いいたします。

① Red Hat Enterprise Linux Server 6.9/6.10 および 7.6 以上をお使いのお客様

Starter Pack バージョン S8.10-006.05 の適用をお願いいたします。

詳細は、下記 Starter Pack のダウンロードサイトをご確認ください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108668>

② Red Hat Enterprise Linux Server 7.3 から 7.5 をお使いのお客様

◆iLO5 ファームウェア、iLO5 日本語言語パックのアップデート方法

iLO5 ファームウェア、および iLO5 日本語言語パックは、下記 Starter Pack を使用することで
アップデートできます。

Starter Pack バージョン S8.10-006.04

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108531>

上記 URL: Starter Pack バージョン S8.10-006.04 ダウンロードページから Starter Pack のダウンロードを行い、【オフラインからのファームウェアアップデート】の(3)「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」を参照し、「手順 2 レビュー」で選択されたファームウェアを、一旦、全ての選択を解除し、「Language Pack - Japanese」、「Online ROM Flash Component for Linux - iLO5」のみを選択し、アップデートを行います(解除、選択方法の詳細は Page6～7 をご確認ください)。

◆AMS のアップデート方法

下記 Starter Pack をダウンロードし、＜AMS アップデート手順＞をご確認の上、AMS のアップデートをお願いいたします。

Starter Pack バージョン S8.10-006.04

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108531>

＜AMS アップデート手順＞

(1) Starter Pack バージョン S8.10-006.04 をダウンロード後、ISO イメージをマウントします。

packages 配下の amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64.rpm を OS 上の任意のディレクトリに格納します。

(2) ターミナルを起動し(1)のディレクトリ配下に移動し、Linux 用アップデート RPM パッケージを次のコマンドにてアップデートします。

```
# rpm -Uvh amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64.rpm
```

(3) rpm コマンドでインストール結果を確認します。

```
# rpm -q amsd
```

```
amsd-1.4.0-3066.82.rhel7.x86_64
```

(4) コンピュータを再起動します。

```
# systemctl reboot
```